みやぎの市町村レビュー

亘理町

1．位置・面積

亘理町は、宮城県の南東部に位置し、仙台市からの距離は25km程度、面積は73.21km²（県内44市町村中25位：合併した自治体の計数は旧市町村の合計値、以下同じ。）となっています。

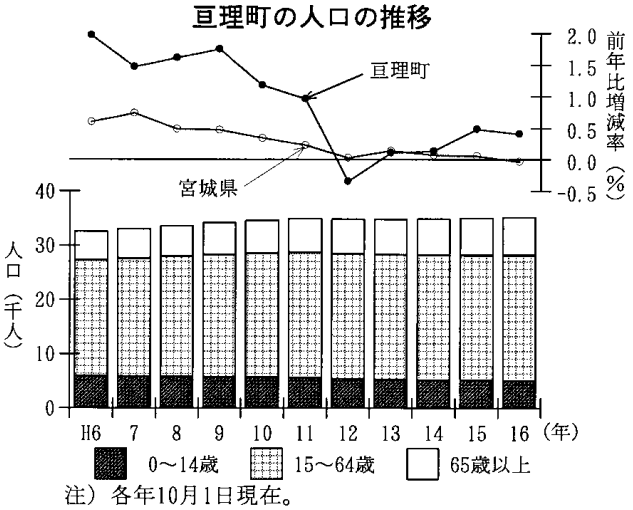
2．人口動向

亘理町の人口（平成16年）は、35,167人であり、県内44市町村中15位となっています。

人口の推移をみると、平成12年に前年を下回る動きがみられましたが、趨勢的には増加傾向で推移しています。

また、年齢階層別人口（平成16年）をみると、年少人口（0～14歳）が5,025人（構成比：14.3%）、生産年齢人口（15～64歳）が23,152人（同65.8%）、老年人口（65歳以上）が6,990人（同19.9%）となっています。

亘理町の人口の推移



注）各年10月1日現在。
資料：総務省「国勢調査報告」、宮城県「宮城県推計人口」

3．産業構造

亘理町の町内総生産額（平成14年度）は803億円であり、県内44市町村中17位となっています。

亘理町の町内総生産額を産業別にみると、製造業が187億円と最も多く、次いで不動産業（158億円）などとなっています。

また、産業別生産額の構成比を宮城県と比べてみると、製造業（23.3%）や農業（4.7%）のウェイトが高い一方、サービス業（9.3%）や卸売・小売業（8.6%）のウェイトが低い状況となっています。

亘理町の産業別町内総生産額（平成14年度）

	実額（億円）		構成比（%）	
	亘理町	宮城県	亘理町	宮城県
農業	38	1,114	4.7	1.3
水産業	3	625	0.4	0.7
製造業	187	13,095	23.3	15.5
建設業	71	5,221	8.8	6.2
卸売・小売業	69	12,490	8.6	14.8
金融・保険業	23	4,143	2.9	4.9
不動産業	158	12,103	19.7	14.3
運輸・通信業	83	7,177	10.4	8.5
サービス業	75	17,364	9.3	20.5
公務・その他	96	11,287	11.9	13.3
合計	803	84,620	100.0	100.0

注）宮城県の総生産額は各市町村の合計値（当部集計）。
資料：宮城県「宮城県市町村民経済計算」、
仙台市「仙台市の市民経済計算」

4．市町村民力

亘理町の民力（平成17年）をみると、経済社会活動の総合力を表す基本指数は111となり、県内45市町村中17位（平成17年4月時点）となっています。成長性を表す同増加指数(10,278)は世帯数や市内総生産の増加を映じて8位となっています。

また、総合的な産業力を表す産業活動指数(126)は16位、同増加指数(10,581)は14位となっています。内訳では、農業・漁業指数(204)が13位となっているほか、漁業生産量の増加などを要因として、同増加指数(10,408)が8位となっています。

一方、生活環境関連の水準を表す生活環境指数(41.2)は38位となっています。内訳では生活基盤指数(44.2)が保育所・幼稚園定員数(6歳以下人口百人当たり)の水準(40.1:38位)が低いことなどから33位となっているほか、医療・安全指数(42.7)が39位となっています。

亘理町の民力（平成17年）

	指数	順位
基本指数	111 (10,278)	17 (8)
産業活動指数	126 (10,581)	16 (14)
農業・漁業指数	204 (10,408)	13 (8)
製造業・建設業指数	199 (11,243)	15 (15)
商業・サービス業指数	77 (10,694)	19 (13)
生活環境指数	41.2	38
生活基盤指数	44.2	33
医療・安全指数	42.7	39

注1)（　）内は増加指数。順位は45市町村中。
2)基本指数は人口や市町村内総生産など6指標、産業活動指数は農業産出額や製造品出荷額等、卸売・小売業販売額など15指標、生活環境指数は下水道普及率や人口一万人当たり医師数など8指標を合成し作成。基本指数、産業活動指数は市町村合計=10,000とした万分比、増加指数は平成12年対平成17年の増加倍率(市町村平均=10,000)。生活環境指数は市町村平均=50とした標準得点(偏差値)。

資料：当行「平成17年宮城県内市町村民力」

5．地域資源と温故知新

（1）いちご

亘理町はいちご生産量（平成15年産）の市町村別順位（秘匿除く。）で全国2位を誇るいちごの一大生産地となっています。亘理産いちごは仙台市場のほか、北海道や関東地方などに出荷されています。亘理町のいちご栽培は、昭和初期の不況時代に養蚕の代替作物として導入されたのが始まりとされ、以降、夜冷など数々の技術革新を経て生産量の増大や品種の改良等が図られてきました。また、いちごの加工品では、亘理町農産物加工推進協議会会員による無添加のいちごジャムなど、高付加価値の良質な商品が数多く生産されています。亘理町では今後もいちごを通じた町の活性化が期待されます。

和気あいあいにいちごジャムをつくる会員の方々

（2）はらこ飯

「はらこ飯」は、藩政時代から受け継がれている亘理町の伝統的な郷土料理です。毎年亘理町漁業協同組合が約300万尾のふ化した稚魚を阿武隈川に放流し、資源培養管理型の栽培漁業により大事に食材の鮭を守り育ててきました。また、町内の小学校では鮭の稚魚飼育や放流体験学習を通して、食文化の象徴として鮭やはらこ飯を次世代へ継承していく取組みが行われています。亘理町商工水産観光課では「今後もはらこ飯の伝統の味を広めるとともに、はらこ飯を食した後も亘理町を存分に観光できるような取組みを引続き行っていきたい」と語っていました。

鮭の放流を体験する町内の小学生